

鼻から接種するインフルエンザワクチン フルミスト®のご案内

フルミスト®は、弱毒化したウイルスを鼻に噴霧するワクチンです。注射針を使わないため、注射が苦手なお子さんにも接種しやすく、1シーズン1回で接種が終了します。

1. 対象年齢・接種回数

- ・対象年齢：2歳以上19歳未満の方
- ・接種方法：左右の鼻に1回ずつ噴霧します。注射針は使いません。
- ・接種回数：1シーズンに1回で終了です。

2. 接種後にみられる症状

弱毒化した生きたウイルスが鼻やのどで一時的に増殖するため、接種後数日間に次の症状がみられることがあります。

- ・鼻水、鼻づまり：約59% ・咳、のどの痛み、頭痛：10%以上
- ・発熱、だるさ、食欲低下、筋肉痛、腹痛、下痢など：1～10%未満
- ・発疹、鼻出血、中耳炎など：1%未満

自然感染と同じインフルエンザを必ず発症するという意味ではありません。ただし接種直後は予防効果がまだ十分でないため、通常のインフルエンザに感染・発症することもあります。

3. 接種できない方

- ・フルミスト®の成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ・免疫機能に明らかな異常がある方
- ・免疫抑制薬、抗がん剤、一定量以上のステロイドなど、免疫を抑える治療を受けている方
- ・妊娠中または妊娠している可能性がある方 ・医師が接種不相当と判断した方

4. 接種前に必ずご相談ください

次の方には、注射のインフルエンザワクチンをおすすめする場合があります。

- ・喘息がある方、最近喘鳴がみられた方 ・けいれんの既往や基礎疾患がある方
- ・アスピリンなどのサリチル酸系薬、ジクロフェナク、メフェナム酸を服用している方
- ・接種前後に抗インフルエンザ薬を使用した方 ・授乳中の方
- ・同居家族など、身近に免疫機能が著しく低下した方がいる方

使用中のお薬がある場合は、自己判断せず、薬の名前が分かるものを持参して医師にご相談ください。

△ 接種後4週間以内に受診するときは必ずお伝えください

ワクチン由来のウイルスは接種後まれに4週間以内まで鼻やのどに残ることがあり、迅速検査では自然感染との区別がつかない場合があります。

接種後4週間以内に発熱・鼻水・咳などで医療機関を受診する際は、必ず「フルミスト®を接種した日」をお伝えください。自然感染を否定できない場合は、安全を優先してインフルエンザとして治療を行うことがあります。

ご不明な点は、遠慮なく医師・スタッフにご相談ください。